

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公開番号】特開2014-137318(P2014-137318A)

【公開日】平成26年7月28日(2014.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2014-040

【出願番号】特願2013-6994(P2013-6994)

【国際特許分類】

G 0 4 G	3/00	(2006.01)
G 0 1 S	19/30	(2010.01)
G 0 1 S	19/23	(2010.01)
G 0 1 S	19/22	(2010.01)
G 0 1 S	19/05	(2010.01)

【F I】

G 0 4 G	3/00	Z
G 0 1 S	19/30	
G 0 1 S	19/23	
G 0 1 S	19/22	
G 0 1 S	19/05	

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月17日(2014.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 5】

図7(A)は、捕捉されるGPS衛星の数が7~8、衛星信号の強度が-145dBm、測位時間が16時間の条件での実験結果であり、図7(B)は、捕捉される衛星数が3~5、衛星信号の強度が-145dBm、測位時間が17時間の条件での実験結果である。前者は、衛星信号の強度が小さいが測位計算に十分な数のGPS衛星が捕捉される受信環境を想定したものであり、後者は、衛星信号の強度が小さく、測位計算に十分な数のGPS衛星が捕捉されるとは限らない受信環境を想定したものである。図7(A)、図7(B)のいずれのシミュレーション結果でも、真位置との距離が小さい順に、最頻値、中央値、平均値であった。このシミュレーション結果から、測位計算により得られる位置の最頻値または中央値を選択し、位置固定モードにおける受信点の位置情報としてGPS受信機に設定することで、平均値を選択する場合と比較して1PPSの精度が向上することがわかる。